

こうせいじん通信

URL : <http://www.koseiin.or.jp>

第3号 平成 21年 5月発行 函館市地域包括支援センター 厚生院 発行責任者 松野 陽



所長 松野 陽

皆様こんにちは。街路樹の緑も日に日に濃さを増し、初夏を思わせるような季節となりました。

当センターも4年目を迎え、平成21年度の新体制のもと、気持ちも新たに取り組みを実践して行こうと張り切っております。

今年度は介護保険制度が一部改正され、事業所に配置する職員の持つ資格や、提供するサービス内容等を一定の基準に基づいて評価する仕組みが追加され、今後はより質の高いサービスの提供が展開されていくものと期待しているところです。

また、地域包括支援センターは函館市から委託を受けて運営しておりますが、今年度は函館市の方針のもと、市内6カ所の各センターでも積極的に地域に根ざした取り組みが行えるよう、体制整備を行なったところです。

介護保険制度も地域包括支援センターも、まだまだ多くの課題が残されている状況ではありますが、全国共通の目標である「住み慣れた地域で永く安心して生活できる町づくり」を、地域にお住まいの方々、各関連機関ならびに行政と協力して行なっていきたいと思っております。

今後も職員一同、皆様の身近な相談窓口として誠心誠意取り組んで参ります。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

函館市 地域包括支援センター厚生院

〒042-0955
函館市高丘町3番1号
(介護老人福祉施設 函館百楽園内)
TEL 0138-57-7740
FAX 0138-57-7746




窓口相談
月～土 9:00～17:30
(日曜日は定休)

※ 休日・夜間は携帯電話へ転送しており、お急ぎの場合など、ご相談をお受けしております。



函館市 地域包括支援センター厚生院 ランチ花園

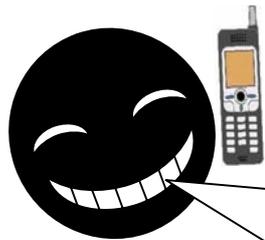
〒041-0843
函館市花園町31番4号
(市住花園団地4号棟1F デイサービスセンター花園内)
TEL 0138-56-5695 FAX 0138-52-2306

函館市地域包括支援センター厚生院の担当地域

川原町	深堀町	駒場町	広野町	湯浜町	戸倉町	湯川町1～3丁目	榎本町	花園町
日吉1～4丁目	上野町	高丘町	滝沢町	見晴町	鈴蘭丘町	上湯川町	銅山町	旭岡町
西旭岡1～3丁目	鱒川町	寅沢町	三森町	紅葉山町	庵原町	亀尾町	米原町	東畑町
鉄山町	蛾眉野町	根崎町	高松町	志海苔町	瀬戸川町	赤坂町	銭亀町	中野町
石倉町	古川町	豊原町	石崎町	鶴野町	白石町			

~定額給付金に乗じた~
詐欺にご注意!

5月中旬から「定額給付金」が支給開始となります。函館でも市役所職員をかたり訪問するという詐欺未遂事件が新聞で報道されました。支給開始に合わせて更に増加する危険性があります。十分注意しましょう。



定額給付金の手続きを行う為に〇万円が必要です。銀行のATMから振り込んで下さい。後ほど給付金が支給になります・・・ケッケッケツ



**こんな言葉には
 ご注意を!**

このような事は絶対にありません!!

- ATM（銀行やコンビニの自動支払機）の操作をお願いします事。
- 手続きの為に、手数料等を振り込んでもらう事。
- 手続きの前に、世帯構成や銀行口座の番号等個人情報情報を照会する事。

怪しい電話などありましたら、家族や知人に相談。もしくは最寄の警察へ相談しましょう。
 (函館中央警察署
 TEL 54-0110)

地域包括支援センターの
 職種紹介コーナー

社会福祉士の役割

○**総合相談**

高齢者やその家族の相談を受け、適切なサービスにつなげます。相談の内容によって、サービスや制度に関する情報提供や関係機関への紹介をいたします。

介護保険以外のサービス(緊急通報システム・配食サービス等)についてもご相談をお受けしております。

○**権利擁護、虐待防止・早期発見**

高齢者の保護や虐待の防止・早期発見など、高齢者が「自分らしく尊厳ある生活」を送ることができるよう取り組んでいきます。

悪質商法の被害にあったときや、成年後見制度をご利用の際は関係機関と一緒に支援していきます。

センターの保健師・主任ケアマネジャーと連携し、地域の皆様にご協力いただきながら支援を行っております。



地域包括支援センターの

保健師・看護師のお仕事

介護予防

~元気で年を重ねられるように~

[1] 元気でいきいき過ごせるように情報提供 (一般高齢者)

元気な方々に対して町内会等に出向き講話や体操を行います。

[2] 身体のおとろえを早期にくい止めます (特定高齢者)

自分の身体が弱ってきたと感じている方々に対し、足腰のおとろえ、お口のトラブル、低栄養など気になる症状の改善に向けて一緒に取り組みます。

[3] おとろえを感じ始めても悪化を予防 (介護保険 要支援1・2認定者)

要支援1・2の認定を受けている方に対し、ケアプラン作成やサービス調整を行ないます。



生活機能評価を受けましょう

函館市では、下記の方を対象に身体のおとろえを早期に発見するチェック（生活機能評価）を実施しています。その結果、生活機能低下（身体のおとろえ、お口のトラブル、低栄養など）がみられた方には、ご本人の状態に合わせた取り組みを紹介しております。

この機会に是非チェックを受けましょう。

《対象》

- 65歳以上で要介護や要支援認定を受けていない方

《受ける場所》

- 市立函館保健所
- 函館市医師会健診検査センター
- 各指定医療機関
- 巡回健診



平成20年度 第3回

函館市地域包括支援センター ケアプラン研修会

主任ケアマネジャーの活動報告です。



とき：平成21年2月19日



美声で熱唱！前沢先生です。

市立函館図書館視聴覚ホールを会場に、市内6カ所の地域包括支援センターが合同で行なう研修会を開催しました。今回は、北海道大学大学院の前沢政次教授をお招きして「ケアマネジメントの課題」というテーマでご講演いただきました。

「うつ病・認知症の特徴」と「看取り」について、大変わかりやすくご解説いただき、最後はその歌詞の持つ意味を伝えるべく、先生自ら「千の風になって」を熱唱する一幕も。大切なテーマについて学ぶ、貴重な機会となりました。



参加者は130名を超えました。

平成20年度 第2回

函館市東央部地域 介護支援専門員懇談会

とき：平成21年2月24日



お茶を飲みながら茶話会形式で。

函館百楽園の旧棟デイルームで、函館市東央部地域に拠点をおくケアマネジャーの皆様にお集まりいただき、懇談会を開催しました。

今回は「ケアマネお悩み解決塾」と題して、函館市居宅介護支援事業所連絡協議会の中村清秋会長をお招きして、「日頃課題に感じていることや対応が難しかった事例」等についてディスカッションを行いました。

時節柄、参加できたケアマネジャーは少なかったものの、活発な意見交換を行なうことができ、閉会の際は中村会長より「様々な人と意見を交わす機会を持つことが大切。その中から解決への糸口が見つかることも多いはずです。」という励ましの言葉もいただきました。

今後もこのような懇談会を企画して行きたいと考えています。



助言を行う中村会長(右)。

介護保険を利用した 住宅改修のご紹介

＜住宅改修の例＞

- ① **手すりの取付** 廊下・トイレ・浴室・玄関などに手すりを取り付ける。
- ② **床段差の解消** 各室間の段差を解消するため、敷居を低くしたり、スロープを設置する。
- ③ **床材の変更** 畳敷きからフローリングやビニール系床材に変更する。
- ④ **扉の取り替え** 開き戸を引き戸や折り戸、アコーディオンカーテン等に取り替える。
- ⑤ **便器の取替え** 和式便器を洋式便器に取り替える。



＜手続きの流れ＞



(1) 要介護認定

要支援1～要介護5の認定が必要です。

(2) 相談・打合せ

工事着工前に、ご本人様・相談員と業者が工事内容について、打ち合わせをします。

(3) 事前申請

工事前、必要書類をそろえ市役所に申請をし、工事の許可をもらいます。

(6) 改修費の支給

工事費用の上限額を20万円とし、9割がご本人様へ支給されます。

(5) 事後申請

工事後、必要書類をそろえ、工事が終わったことを市役所に報告します。

(4) 工事・完成・支払

業者により、住宅改修の工事を行います。工事後、業者へ一旦費用を全額支払います。

ご希望がございましたら、フランキ花園 (TEL 56-5695) へご連絡下さい。
必要に応じて訪問させていただき、詳細についてご説明いたします。

地域の集まり にぜひ！

当センターでは、町内会等の地域での集まりにお伺いして、高齢者に関する講話を行ったり、相談への対応や情報提供などを行なっています。ご希望の方は、お気軽にご連絡下さい。

新人職員紹介



事務員
鈴木望美

明るく元気な挨拶と、丁寧な電話・窓口対応を心がけ、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います！
どうぞよろしくお願いたします。

大井川 印牧 須田 松野 佐々木 森 矢野



三好 中村 工藤 福原 鈴木

編集後記

いよいよ新年度が始まり、広報誌も第3号を発行することになりました。今年度も、地域の皆様に役立つ情報をお届けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

冬の間メタボ対策をして、春には身軽な体になっていたはずでしたが、現実には厳しいもので体重は減るところか増えてしまいました。あきらめずに、健康維持に努めたいと思います。

広報誌担当者 大井川 宏